

令和8年度 シラバス

教 科	商業	科 目	財務会計Ⅰ	学 年	第2学年	学 科 類	科 型	情報ビジネス科
単位数	3 単位	教科書	新財務会計Ⅰ(実教出版)					
副教材	完全段階式 標準検定簿記問題集 会計(とうほう)							

学習目標	1 財務諸表作成に関する知識や技術を習得し、財務会計の意義や役割について理解していきます。 2 財務諸表から得られる会計情報を、ビジネスの諸活動に活用できる能力と態度を育てていきます。
------	--

キャリア教育の視点	簿記は企業の経済活動を貨幣価値によって組織的に記録、計算、報告する技術です。簿記を用いることにより、企業の状況を日常的に把握できるばかりでなく、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表により、企業の経営成績や財政状態を明らかにするということを理解していきます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
2 学 期	8月	第Ⅰ編 財務会計の基礎	会計法規の必要性を理解し、その種類と内容について学習します。 資産の種類にはどのようなものがあるか学習します。 負債、純資産の種類にはどのようなものがあるか学習します。 損益計算の意味を明らかにし、収益・費用の認識および測定基準について学習します。 財務諸表分析の意味・方法について学習します。	中間考査
	9月	第Ⅱ編 資産		
	10月	第Ⅲ編 負債と純資産		期末考査
	11月	第Ⅳ編 損益計算		
	12月	第Ⅴ編 財務諸表の作成		
3 学 期	1月	第Ⅵ編 連結財務諸表	親会社と子会社の意味、さらに、連結財務諸表の重要性を学習します。 投資と資本の相殺消去の手続きについて特殊比率が100%の場合と100%未満の場合に分けて学習していきます。	学年末考査
	2月	第Ⅶ編 財務諸表の活用		
	3月			

学習の方法	学習についての概要を説明し、目標を十分に理解させ、学習に対する意識付けを行います。また、單元ごとの小テストを行い、学習の定着度を確認しながら授業を進めていきます。 全国商業高等学校協会主催簿記実務検定1級取得を目指します。
-------	---

評価の仕方	知識・技術は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、小テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。 思考・判断・表現は、習得した知識や技術を既存の知識や技術と関連付けたり、他の学習や生活の場面で活用したりすることができているか評価します。 主体的に学習に取り組む態度は、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながらよりよく学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。
-------	--

備考	
----	--